















野菜の需給・価格動向レポート(平成24年10月15日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類		9月の価格動向			10月の価格動向		生育及び価格の１０月の見通し	
		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の開東・近畿ブロック 旬別平均販売価額		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の開 東・近畿ブロック 旬別平均販売価額		
			中旬	下旬				上旬
葉 茎 菜	<div>キャベツ</div> 	74.19	58	53	74.19	47	・群馬産は、生育が順調で大玉傾向。平年より出荷の終盤がずれ込み、下旬まで潤沢な出荷の見込み。千葉産は、平年より少なめに推移していたが、降雨により生育が回復し、平年並みの出荷となる見込み。 ・潤沢な出荷が見込まれることから、価格は、引き続き平年を下回って推移する見込み。	
		88.91	57	52	88.91	47		・入荷見込量：4,100t (100) ・主産地：群馬 (50)、長野 (24)、茨城 (12)、愛知 (6)
	<div>ねぎ (関東：白ねぎ 関西：青ねぎ)</div> 	273.33	271	298	218.22	328	・入荷見込数量：5,903t (100) ・主産地：青森 (24)、山形 (13)、秋田 (13)、新潟 (11)、北海道 (9)、茨城 (8)、岩手 (5)、輸入 (4)、埼玉 (2) ・入荷見込数量：210t (127) ・主産地：香川 (27)、大阪 (21)、高知 (14)、徳島 (13)、奈良 (8)、愛媛 (6)	
		342	344	311	314.62	363		・青森産は、稲刈りが終了し、生育も順調に進んでいることから、今後は出荷量が増加し、平年並みの出荷の見込み。山形産は、中旬に出荷のピークを迎え、出荷量が増加するものの、下旬は減少する見込み。秋田産は、夏場の暑さや少雨の影響を受け、細め傾向で、平年よりやや少ない見込み。 ・青森産及び山形産の出荷の増加が見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに近づく見込み。
	<div>はくさい</div> 	78.06	53	53	78.06	49	・長野産は、順調な生育で、月末まで潤沢な出荷が続く見込み。茨城産は、中旬から出荷開始となるものの、定植時期の遅れにより少なめに推移する見込み。 ・長野産の出荷が潤沢と見込まれることから、価格は、引き続き平年を下回って推移する見込み。	
		88.72	52	49	88.72	46		・入荷見込量：5,200t (100) ・主産地：長野 (96)
	<div>ほうれんそう</div> 	583.95	706	665	350.1	700	・入荷見込量：1,437t (105) ・主産地：群馬 (36)、栃木 (18)、茨城 (15)、千葉 (10)、岩手 (9)、埼玉 (5) ・入荷見込量：440t (84) ・主産地：岐阜 (66)、福岡 (8)、北海道 (7)、和歌山 (6)	
		670.86	805	767	416.76	730		・群馬産は、ハウスもののピークを迎え、生育が順調で、平年並みの出荷となっている。今後は露地ものの出荷となるが、平年並みの出荷の見込み。栃木産は、ピークを過ぎ減少傾向であるものの、月末までは、平年並みの出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに近づく見込み。
	<div>レタス</div> 	158.27	119	100	158.27	99	・入荷見込量：9,129t (105) ・主産地：茨城 (57)、長野 (32)、栃木 (6) ・入荷見込量：1,550t (113) ・主産地：長野 (64)、茨城 (25)、兵庫 (7)	
		160.6	125	99	160.6	119		・長野産は、順調な生育になっているものの、ピークを過ぎ、月末にかけて減少する見込み。茨城産は、降雨等の影響により品質が悪く正品率の低下がみられるものの、平年並みの出荷の見込み。 ・長野産の出荷が潤沢と見込まれることから、価格は、引き続き平年を下回って推移する見込み。
	<div>たまねぎ</div> 	76.15	90	80	76.15	76	・入荷見込量：11,639t (110) ・主産地：北海道 (88)、輸入 (6) ・入荷見込量：3,900t (116) ・主産地：北海道 (56)、兵庫 (38)	
		76.15	91	79	76.15	77		・北海道産は、収穫は9割まで終了し、前年を上回る出荷となっている。今後も平年並みの出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。
果 菜	<div>きゅうり</div> 	210.69	148	212	262.75	226	・入荷見込量：6,175t (100) ・主産地：埼玉 (31)、群馬 (21)、茨城 (13)、福島 (12)、栃木 (6) ・入荷見込量：1,300t (101) ・主産地：福島 (20)、北海道 (18)、宮崎 (18)、大阪 (13)、群馬 (10)、愛媛 (6)	
		221.71	181	228	284.72	262		・埼玉産は、好天の影響により順調な出荷で、平年並みの出荷の見込み。群馬産は、少なめの出荷となっているものの、今後は生育が回復し、平年並みの出荷となる見込み。茨城産は、平年並みの出荷となっているが、ピークを過ぎ下旬から減少傾向となる見込み。 ・埼玉産の順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。
	<div>トマト</div> 	229.51	391	397	315.83	470	・入荷見込量：5,984t (102) ・主産地：千葉 (24)、茨城 (17)、青森 (11)、福島 (9)、愛知 (7)、群馬 (4) ・入荷見込量：1,200t (112) ・主産地：北海道 (25)、岐阜 (18)、熊本 (16)、石川 (7)、愛知 (7)、岡山 (6)	
		271.33	417	456	337.88	495		・千葉産は、少なめの出荷となっているものの、今後生育が回復し、出荷量が増加する見込み。茨城産は、出荷のピークを迎え、出荷量が増加する見込み。青森産は、出荷の終盤を迎え減少傾向で、平年より早めの切り上がりで中旬までの出荷の見込み。 ・青森産の出荷量の減少が見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。
	<div>なす</div> 	209.55	200	236	301	257	・入荷見込量：3,534t (105) ・主産地：高知 (29)、栃木 (22)、茨城 (15)、群馬 (15)、福岡 (6) ・入荷見込量：680t (105) ・主産地：高知 (23)、徳島 (18)、山梨 (11)、京都 (8)、熊本 (8)、大阪 (7)、岡山 (7)、奈良 (6)	
		221.72	213	215	263.21	218		・高知産は、好天に恵まれ順調な生育で、今後出荷量が徐々に増加する見込み。栃木産は、9月末の台風17号の影響で傷果が発生し、やや少なめの出荷の見込み。 ・高知産の出荷が順調と見込まれることから、価格は、平年を下回って推移する見込み。
	<div>ピーマン</div> 	263.58	165	161	263.58	181	・入荷見込量：1,840t (102) ・主産地：茨城 (72)、岩手 (12) ・入荷見込量：320t (91) ・主産地：宮崎 (17)、高知 (14)、兵庫 (13)、青森 (11)、愛媛 (9)、福島 (8)、大分 (7)、鹿児島 (6)	
		282.16	225	215	282.16	237		・茨城産は、生育が順調で、平年並みの出荷となり、下旬にピークを迎える見込み。岩手産は、平年並みの出荷となっているものの、出荷の終盤となり、徐々に出荷量が減少し、11月上旬には切り上がる見込み。 ・茨城産の出荷が潤沢と見込まれることから、価格は、引き続き平年を下回って推移する見込み。
	根 菜	<div>だいこん</div> 	94.6	85	85	64.33	82	・入荷見込量：13,137t (98) ・主産地：北海道 (39)、青森 (29)、千葉 (21)、岩手 (5) ・入荷見込量：4,500t (99) ・主産地：北海道 (32)、石川 (31)、青森 (10)、新潟 (9)
			100.39	86	82	76.48	88	
<div>にんじん</div> 		123.08	113	106	123.08	111	・入荷見込量：8,073t (100) ・主産地：北海道 (89)、輸入 (4) ・入荷見込量：2,700t (111) ・主産地：北海道 (98)	
		123.11	118	103	123.11	115		・北海道産は、品質も良好で下旬まではまとまった量の出荷となり、平年並みの出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は、引き続き平年をやや下回って推移する見込み。

種類		9月の価格動向			10月の価格動向		生育及び価格の１０月の見通し	
		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック 旬別平均販売価額		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック 旬別平均販売価額		
			中旬	下旬				上旬
いも	さといも 	242.66	196	230	200.88	236	・埼玉産は、少雨の影響で小玉傾向となり、平年をやや下回る出荷の見込み。千葉産は、生育が順調で、平年並みの出荷の見込み。 ・埼玉産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、平年をやや上回って推移する見込み。 (※トピック欄参照)	
		220.11	200	204	207.2	209		
	ばれいしょ 	101.61	79	75	88.17	77		・北海道産は、収穫は9割まで終了し、前年を上回る出荷となっているものの、収穫時の高温のため、一部で腐敗が発生している。 ・当面は、順調な出荷が見込まれることから、価格は、引き続き平年を下回って推移する見込み。
		101.61	75	73	88.17	78		

- 1) 平均価格は、過去6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く。)
2) 旬別平均販売価額の赤字は平均価格を50%以上回るもの、背景ありは保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く。)
3) 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック
4) 入荷見込量は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。()内は前年対比
5) 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績
6) コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもの。

2 野菜の需要動向

家計調査によると、8月の1人当たりの生鮮野菜の購入数量は、4,215gで前年比96%、購入金額は、1,603円で同93%となり、購入数量は前年をやや下回り、購入金額はかなり下回った。

また、小売物価統計によると、9月のキャベツの小売価格は、106円で過去5か年平均比68%、レタスは、328円で同58%となり、キャベツ、レタスともに過去5か年平均を大幅に下回った。

生鮮野菜の購入数量及び金額（１人当たりの購入数量と金額）

年	過去5か年平均		平成23年		平成24年			
	購入数量（g）	金額（円）	購入数量（g）	金額（円）	購入数量（g）	前年比	金額（円）	前年比
1月	4,263	1,528	4,310	1,573	4,189	97	1,634	104
2月	4,403	1,552	4,267	1,629	4,499	105	1,735	107
3月	4,815	1,721	4,867	1,788	4,584	94	1,851	104
4月	4,779	1,812	4,796	1,789	4,620	96	1,904	106
5月	5,109	1,894	5,171	1,820	4,945	96	1,948	107
6月	5,043	1,872	4,904	1,857	5,103	104	1,875	101
7月	4,441	1,696	4,362	1,759	4,319	99	1,651	94
8月	4,348	1,719	4,392	1,717	4,215	96	1,603	93
9月	4,831	1,804	4,598	1,803		0		0
10月	5,262	1,862	5,037	1,884		0		0
11月	5,016	1,636	5,091	1,613		0		0
12月	5,145	1,834	4,998	1,792		0		0

資料：総務省「家計調査報告(二人以上世帯(農林漁家世帯を除く))」

主要野菜の月別小売価格(東京都区部)の推移
(単位：円/kg)

	キャベツ			レタス		
	過去5か年平均	平成24年	5か年比(%)	過去5か年平均	平成24年	5か年比(%)
1月	166	230	138	547	690	126
2月	177	247	140	508	691	136
3月	188	238	126	461	692	150
4月	238	262	110	462	513	111
5月	172	196	114	380	409	108
6月	144	127	88	350	305	87
7月	160	119	75	324	292	90
8月	156	111	71	463	296	64
9月	155	106	68	562	328	58
10月	161		0	505		0
11月	162		0	371		0
12月	153		0	453		0

1) 過去5か年は平成19～23年の平均。
2) 平成24年9月の値は、9月中旬の速報値。

資料：総務省「小売物価統計調査報告」

3 野菜の輸入動向

9月の輸入を植物防疫統計で見ると、たまねぎは前年比102%（中国は同102%、アメリカは同101%）の2万3千トン、にんじんは同81%（中国は同82%、オーストラリアは同59%）の6千トン、ねぎは同92%（中国は同92%）の4千トンとなった。たまねぎは前年をわずかに上回り、にんじんは大幅に下回り、ねぎは、かなり下回った。

野菜の輸入数量の推移

(単位：トン、%)

区分	平成22年		平成23年		平成24年1～8月		平成24年8月	
		前年比		前年比		前年同期比		前年同月比
生鮮野菜	820,687	133	915,091	112	691,892	111	58,717	104
加工野菜	1,677,840	107	1,803,510	107	1,265,688	106	160,200	100
野菜合計	2,498,527	114	2,718,600	109	1,957,580	108	218,917	101
うち中国産野菜合計	1,284,449	117	1,409,984	110	979,019	107	114,642	96
中国産シェア	51		52		50		52	

資料：ペジ探（原資料）財務省「貿易統計」

主な野菜の輸入動向

(単位：トン、%)

品目	輸入先	平成23年9月(A)	平成24年9月(B)	(B)/(A)
たまねぎ	合計	22,743	23,144	102
	中国	21,082	21,423	102
	アメリカ	1,649	1,659	101
にんじん	合計	6,935	5,644	81
	中国	6,788	5,572	82
	オーストラリア	63	37	59
ねぎ	合計	4,186	3,848	92
	中国	4,184	3,846	92

資料：農林水産省「植物防疫統計」。平成24年9月は、速報値である。

4 トピック ― さといもの需給状況 ―

9月30日は、今年の中秋の名月であった。別名「いも名月」と呼ばれ、収穫したさといもを供する習慣がある。

さといもの収穫のピークは10月頃。気温の低下に伴い食卓に多く上る煮物や東北地方の芋煮、お正月のおせち料理等に欠かせない食材となっており、収穫され、貯蔵されていたものを始めとして需要に応じて出荷されている。

ところで、さといもの購入数量は、地域差が大きいという特徴がある。1人当たりの年間購入数量は、全国平均で697gであるが、大分市や熊本市はその2倍近い購入数量となっている。一方、札幌市、青森市や那覇市は1/2程度であり、大分市と那覇市とでは10倍以上の開きがある（他の指定野菜の購入数量の地域差は2～3倍程度）。さといもは収穫量の6割程度しか出荷されず、

① だんご汁や田楽等の郷土料理の食材となって食べられてきた地域がある一方で、

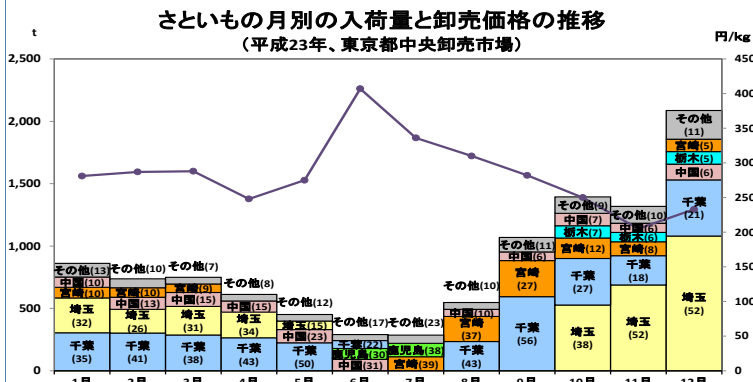
② 元々さといもの生産がほとんどなく、田芋等の代替食材が生産されてきた地域がある

こと等から、このような状況になっているのではないかと考えられる。

今年の8月中旬から10月上旬までのさといもの需給動向は、主産地の宮崎産が台風の影響で収量減となり、入荷量が下ったものの、夏の猛暑やその後の残暑の影響により、煮物需要が振るわず、需要が減少したことから、価格は平年を下回って推移している。

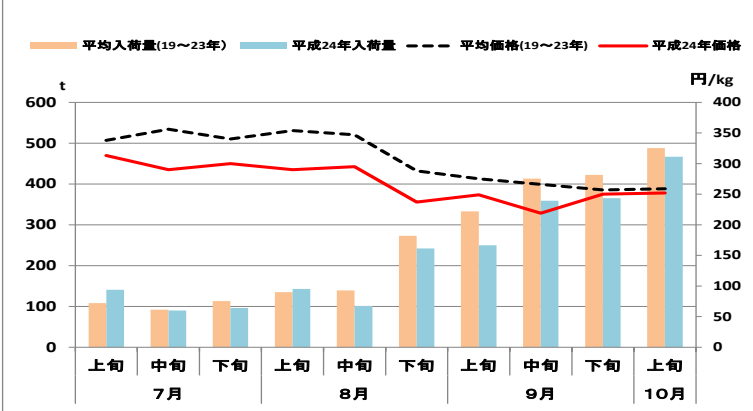
今後は、需要が多くなる時期となるが、主産地の埼玉産が少雨による小玉傾向で、出荷が少なめと見込まれることから、価格は平年よりやや高めに推移すると思われる。

さといもの月別入荷量と卸売価格の推移 (平成23年、東京都中央卸売市場)



資料：東京都「平成23年東京都中央卸売市場年報」

さといもの入荷量と卸売価格の推移 (7～9月、東京都中央卸売市場)



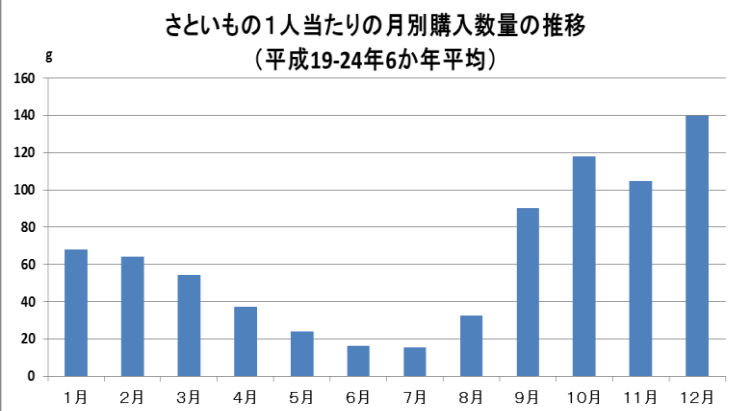
資料：青果物情報センター

さといもの年間の購入数量上位5県と下位5県 (平成23年、都道府県庁所在市) (単位:g)

	都道府県庁所在市	1人当たり購入数量
1	大分市	1,363
2	熊本市	1,212
3	名古屋市	1,082
4	岐阜市	1,060
5	山形市	1,005
	全国平均	697
43	岡山市	394
44	高松市	388
45	札幌市	305
46	青森市	269
47	那覇市	134

資料：総務省「家計調査（二人以上の世帯）1世帯当たりの購入数量、都道府県庁所在市別」

さといもの1人当たりの月別購入数量の推移 (平成19-24年6か年平均)



資料：ペジ探(原資料)総務省「家計調査(二人以上世帯(農林漁家世帯を除く))」

- 問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、須藤、山田 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。
◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方はペジ探のトップ画面、メルマガ配信登録・解除ボタンから登録してください。
★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、http://vegetan.alio.go.jp/vegetable_report.html に掲載しています。